

楠まちづくり新聞

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり



新しい執行部のみなさん

6月5日（日）楠小学校体育館で、78名（内委任状46名）の参加による総会成立を確認後、10時から令和4年度楠小学校区つながる会定期総会」を3年ぶりに開催しました。

令和4年度 総会報告

事業報告

最初に来賓として参加された市役所自治協働課の職員の皆様と社会福祉協議会の地域パートナーの方を紹介させていただき、それぞれの方から新年度に向けた抱負を頂戴しました。

楠小学校区つながる会 第29号

楠小学校区つながる会 第28号

楠小学校区つながる会 第27号

つながる会
発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正憲

防災セミナーの開催

日本赤十字社から講師をお呼びして講演と「ビニール袋を使った炊飯」の実技指導を受けました

炊飯用に準備するモノ

ワークショップの開催

校区福祉委員と協働で「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の研修を行いました

ほっとかへん。

かわちがらのつながり・元気あふれ推進プラン

大阪千代田短期大学 青木先生の講演

新執行部

前年度で役員の任期が切れるため、役員・会計監査候補者（案）が提示され、異議なく承認されました。

会計担当の役員が改選になりました。

防災研修

裏面に続く

○広報部会 「防災」と「生活」を

○総務部会 防災かまどベンチの管理・運営規定の作成。

○高層集合住宅部会 高層集合住宅独自の「まちづくり」の問題点を話し合い、地域との協働を目指す。

将来は千代田地区とのゆるやかなネットワークを構築する。

事業計画

左記は今年度の事業計画です

行政と協力して、防災活動等を通じてのまちづくり推進

第5次総合計画の地域別計画施策への取り組み

防災訓練の実施

楠小学校プール横に設置された「マンホールトイレ」の取扱い活用訓練の実施

（マンホールトイレ 裏面に続く）

自主防災組織づくりを支援し、活動の活性化を促進するきっかけとなるよう、自主防災組織相互の情報交換及び防災訓練の実施

防災かまどベンチの活用を促進し、防災意識

2大テーマに据える。地域住民の方による自主的な活動や公的サービスの活用しながら課題の解決のお手伝いに貢献する。

広報紙「楠まちづくり新聞」を年4回定期的に発行（継続）する。自治会等を通じて個別配布する。

避難所運営マニュアルを適宜見直す。既に配布した防災マップを見直し、「防災・安全マップ」としての作成を進める。

子ども達を対象にした「防災ディキャンブ」「パラエティブェスタ」等に他団体と協力する、合わせてかまどベンチを使用し防災意識の向上と交流を図る

救急救命訓練等の実施

防災用品の購入および購入品のPR活動

災害時等の情報を得るためにSNS等の活用についての勉強会の実施

原則として毎月第1木曜日午後7時から松ヶ丘集会所において定例の運営委員会の開催

専門部会の活動

「コノミヤ河内長野店」2階空きスペースの活用計画の検討

（コノミヤ2階 裏面に続く）

楠小学校や大阪暁光高校との連携を図る

地域の福祉委員会や青少年健全育成会等と連携し行事等の実施

子ども達を対象にした「防災ディキャンブ」「パラエティブェスタ」等に他団体と協力する、合わせてかまどベンチを使用し防災意識の向上と交流を図る

救急救命訓練等の実施

防災用品の購入および購入品のPR活動

災害時等の情報を得るためにSNS等の活用についての勉強会の実施

原則として毎月第1木曜日午後7時から松ヶ丘集会所において定例の運営委員会の開催

専門部会の活動

「コノミヤ河内長野店」2階空きスペースの活用計画の検討

（コノミヤ2階 裏面に続く）

の向上と地域間の交流促進

くろまる熟提案の地域課題解決プログラムへの取り組み

防災意識に関して地域差や自治会による温度差の解消

楽しくウォーキングしてもらう「ぶらあり・わがまち散歩」への参加呼び掛け

マンホールトイレ活用訓練

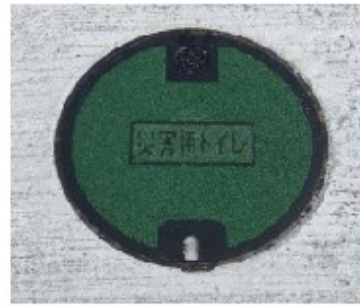
大規模な災害が発生すると様々なライフラインが途絶され、トイレが使用できなくなるなどの問題が起きます。

トイレ環境の快適さが失われることで避難者の健康被害につながることは、過去の災害からも示されており、避難生活における施設や設備の備えも困ったことがトイレとの結果も出ています。

河内長野市では避難所におけるトイレ環境の整備として、多くの避難者が避難する市内の小中学校に令和2年度からマンホールトイレの整備をすすめています。

昨年、楠小学校プール横の駐車スペースにマンホールトイレを設置する準備が整いました。

最初にトイレ用マンホール蓋（緑色）に「災害用トイレ」の文字があることを確認する



マンホールの蓋



組立て完了

防災倉庫から計5基1基は身体障がい者用を運び出し組立ます

屋根を4ヶ所固定すれば組立の完成です。

3種のマニュアル組立てマニュアル使用マニュアル排水マニュアル



災害時のイメージ図（市ホームページより）

コノミヤ河内長野店2階スペース活用検討

6月5日(日)の総会の後は「まちづくり」についての研修会を約1時間ほど行いました。

講師は「コノミヤテラス」の立ち上げ、運営に携わってきた方で、一般社団法人 カンデの関谷さまにお願いしました。テーマは「多世代間のつながりから考えるまちづくり」でした。

講演の中で強調されたのは、「誰でも参加できることを皆に目につくところから始め、徐々に参加者を増やしていくことが大事」と言われました。

左に「咲く南花台プロジェクト」が取り組んだまちづくりの歩みを簡単に載せておきました。

10年ほど前から実績を積み上げてこれ、施設再利用の取組みから、地域活性化にと切替わった点が興味を引きました。

組織の特徴として、都市再生機構は南花台で得た成果を他の団地の再生に活かそう、市役所は人口10万人規模の自治体を維持しよう、との意思表示がみて取れます。

「つながる会」では今年度は3年ぶりに「つながる会」主催の防災訓練を実施する予定で、それまでに全ての手はずを整え、設置活用の訓練を必ず実施する計画です。日時等が決まりましたら、あらためて広報します。

南花台まちづくりの歩み

咲く南花台.com (<http://nankadai.com/>) を参考にしました

1982年（昭和57年）より開発された河内長野市最大規模のニュータウン戸建住宅、UR賃貸住宅、民間マンションで構成され、緩やかな坂が多い住宅地

2013年（平成25年）に南花台西小学校が閉校する、跡地の有効活用が急務となる地域コミュニティ施設、大学誘致等を検討するも、課題解決が困難となり断念。まちづくりと一体的に検討し、地域の合意形成を図る方針に転換する

2013年（同年）に市と関西大学の共催で「団地再編COMPETITION 2013」を実施する。関西大学がUR南花台団地を対象に、「団地再生の仕組み」の研究に着手する

2014年（平成26年）に「咲く南花台プロジェクト」が立ち上がる。プロジェクトの最初の取組みは「みんなの拠点づくり」

2015年（平成27年）に国から「地方創生先行型交付金」を受け具体的な事業に着手

2015年（平成27年）に「大阪府市医療戦略会議」の提言した戦略案のうち、「スマート・エイジング・シティ」のモデル地区として、南花台が選定される

2015年（同年）コノミヤテラス（みんなの拠点）がオープンする。コノミヤ南花台店空き店舗を無償で貸与いただき整備

2016年（平成28年）に第5次総合計画で、南花台を「丘の生活拠点」と位置付け「咲く南花台プロジェクト」が丘の生活拠点創生事業として国から「地方創生加速化交付金」を受け、引き続き推進役を担うことになる

2019年（令和元年）南花台モビリティ「クルクル」の実証事業を開始する

防災研修施設の視察

「つながる会」では今年度は3年ぶりに視察研修を計画しています。候補地として次の施設をあげ、視察できるように準備しています。日時等が決まりましたらあらためて広報します。

候補地として昨年4月15日に堺市美原区阿弥にオープンした「堺市総合防災センター」を挙げています。



堺市総合防災センター

センターは美原地区にある船渡池の北側に隣接しています。写真の左上が船渡池です。

体験型の研修が数種類用意されています。一般団体のコースの内容は以下の通りで約2時間です。

- 映像による災害学習
- 地震体験
- 防災情報コーナー
- 訓練ガイドダンス
- 煙・暗闇避難体験
- 消火体験
- 災害時用設備見学
- 振り返り

編集後記

まちづくり新聞の第三十号をお届けします

メール kusunoki.info@gmail.com

<https://ksrd.jp/kusunoki/>

